

県会議員 奥村のり子 の
読者ニュース

2016年7月24日 第225号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール w-jcpken@naxnet.or.jp



牙むき沖縄住民に負担増
夜間騒音 先月383回

7月の参院選でアベ内閣の閣僚が2人落選。福島選挙区の岩城光英法務大臣と、沖縄の島尻安以子沖縄・北方担当大臣が野党統一候補に敗れました。とりわけ、島尻氏は顔写真入りカレンダー配布で公選法に抵触で物議を呼んだり、会場で北方の「歯舞」(はほまい)を読めず騒動になった人物で10万6千票の大差で敗北。そして自民党は沖縄県で衆参とも選挙区選出議員はゼロになりました。

新基地建設反対の「オール沖縄」勢力は2014年1月の名護市長選以後、県知事選、衆院選、今年の県議選と連続勝利、しかもその差が開いてきており、沖縄の民意は新基地反対が確実に多くなっています。ところが参院選投票日翌日から、沖縄県北部の東村高江に米軍ヘリパッド(着陸帯)建設で、反対住民を強制的に排除し工事用資材の搬入を5日連続行いました。高江集落に6カ所建設するうち2カ所は完成し、危険なおスプレイなど米軍機が低空飛行し、子供たちが体調を崩し登校できない事態や夜の9時10時頃からも飛び続けたり、県によると6月だけで夜間の騒音は383回と2年前の24倍になり、「家が揺れ頭が痛くなる」と言います。

直近の選挙で示された民意の腹いせか「負担軽減」どころか牙をむいておそいかかり、「国家に逆らうな」と沖縄を見せしめに全国民を恫喝する感じですね。アベ政権はまるで独裁者ではないでしょうか。(編集室)

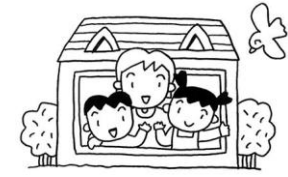
のり子の週刊日誌—主なもの—

- 7月22日 市駅・吉宗像前宣伝
- 23日 地域訪問
- 24日 ウォーキングクラブ懇親会
- 25日 河西無料法律相談、ティサービスボランティア
- 26日 会議
- 27日 地域訪問
- 28日 市駅無料法律相談

戦争法廃止めざし
お茶の間で
語り合いたく思います

暑中お見舞い申し上げます。ようやく梅雨が明け陽射しも肌を刺すようになってまいりました。肌を刺すといえば、先日久しぶりに家のかたづけをしようと、粗大ゴミをさわったときに蜂の怒りをおかしてしまいました。蜂の武力行使はかわいいものです。自衛隊の海外での武力行使を可能にする戦争法はぜったいに許せません。戦争法で想定しているのはアメリカが強行する戦争への日本の軍事力参加です。

アメリカの戦争の現実をもっと伝えなければと思います。2003年に始まったイラク戦争について安倍首相は委員会で「大量破壊兵器が存在しないことをイラクが自ら証明しなかったことがイラク戦争をもたらした」という認識をしめています。この認識はアメリカを初めとする世界の今のイラクの戦争認識と大きくかけ離れていると思います。



ほっと一息、久しぶりのブログです。ウォーキングクラブの例会に行ってきました。整備された紀の川河川敷4キロをおしゃべりしながら歩きました。みなさんの元気なパワーをいただきました。

産廃処分場説明会

7月18日、紛争予防条例に基づき事業者からの産業廃棄物最終処分場建設の第2回目の説明会が北コミセンで開かれ、350人ほどの方が参加しておられました。

前回の説明会では、十分な資料の提供が無かったことや、質疑応答の時間が確保されておらず、住民のみなさんが十分な質問をする事が出来ないどころか質問に対する回答がその場で行われぬなど、住民の意見を聞くこととする事業者の姿勢がみられませんでした。

2回目も不誠実な姿勢が浮き彫りに

党市議会議員
中村あさと

そのため、今回の説明会は、納得できる説明会を開くよう住民の側から改めて説明会の開催を要請したものです。

しかし、今回の説明会でも、解りやすく説明するための資料は配布されませんでした。また、計画地南西側斜面の湧水の確認がまだ調査中であることや、地質などについても事業者自らの主張を繰り返すだけで、その科学的根拠は示されませんでした。

事業者は、今後、説明会を開く予定はないとの事ですが、2回の説明会を通じて、説明が十分であることや、事業者の不誠実な姿勢が浮き彫りになっていきます。

山口地区連合自治会長は「説明責任を果たしたとは思えない。今回の説明会も私達は不満足です。もっと科学的な調査に基づく説明をしてもらいたい」と発言されました。